

# 会 議 録

(7-1)

会議の名称		令和6年度 第3回 豊野市民センター地域づくり推進会議					
開催日時		令和 7年 2月 5日(水曜日)	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50px;">開 会</td> <td>午後 2時30分</td> </tr> <tr> <td>閉 会</td> <td>午後 3時30分</td> </tr> </table>	開 会	午後 2時30分	閉 会	午後 3時30分
開 会	午後 2時30分						
閉 会	午後 3時30分						
開催場所		豊野市民センター 2階 研修室Ⅱ					
議長(会長等)氏名		会長 中島 邦彦					
出席者	委員氏名	(出席人数： 9人) 中島邦彦、時田美野吉、川鍋守、小川保、飯塚耕治、 西郷弘、安東敏子、鈴木啓子、西浦幸恵					
	説明者その他	(出席人数： 4人) 岩谷市長、飯口市民生活部長、 矢野市民生活部参事、隅田豊野市民センター長					
	事務局	(出席人数： 3人) 坂巻昇、根本崇、大川裕之					
次第及び公開・一部公開・非公開の区分		<p>次第</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 開会（公開）</li> <li>2 会長あいさつ（公開）</li> <li>3 市長あいさつ（公開）</li> <li>4 協議結果の報告（公開） ～ にぎわいと安心・安全のまち”豊野” にしていくために ～</li> <li>5 意見交換（公開）             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 豊野市民センターの運営について</li> <li>(2) その他</li> </ol> </li> <li>6 市長コメント（公開）</li> <li>7 閉会（公開）</li> </ol>					
一部公開・非公開の場合はその理由		<input type="checkbox"/> 要綱第3条第1号該当： <input type="checkbox"/> 要綱第3条第2号該当： <input type="checkbox"/> 要綱第3条第3号該当： <input type="checkbox"/> 要綱第3条第4号該当：					
配布資料		資料 ～ にぎわいと安心・安全のまち”豊野” にしていくために ～ （第1回会議及び第2回会議における協議結果概要）					
会議録の作成方法		<input type="checkbox"/> 録音テープ等を使用した全文記録 <input type="checkbox"/> 録音テープ等を使用した要点記録 <input checked="" type="checkbox"/> 要点記録					
会議録署名の指定		会議録の署名は、会長がおこなうものとする。ただし、会長が不在その他の理由によりやむを得ないと認められる場合は、副会長又は事前に会長から指名された委員が署名を代行できるものとする。					

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
事務局	<p>1 開会</p> <p>委員13名中9名の出席があり過半数に達していることから、本会議は成立。(言及なし)</p> <p>岩谷市長が会議に出席している旨の報告。</p> <p>会議をすべて公開する旨の報告。傍聴者がいない旨の報告。</p>
会 長	2 あいさつ
市 長	3 あいさつ
会 長	<p>4 協議結果の報告</p> <p>(資料に基づき、会長から報告)</p>
議 長	<p>5 意見交換</p> <p>(1)豊野市民センターの運営について、資料にあるお寄せいただいた課題やご意見を踏まえて、改めて委員お一人ずつからご意見ご感想をいただきたいと思います。順番にお願いします。</p>
委 員	<p>西暦2025年問題、超高齢化社会が進んでいる。後期高齢者(75歳以上)は2,200万人を超えると指摘されており、その中で5人に1人が認知症になると言われている。このため、それぞれの地域が、認知症の方と共生できるのかが課題となってくる。資料にあるように豊野地域の活性化に向けては、高齢者に優しいまちづくりも謳われているので、住み慣れたまちで、自分らしく住み続けられるような地域づくりが大事になってくる。地域とのつながりがあれば、認知症のいる家族の負担軽減にもつながるものである。</p> <p>新しい認知症への対応では、支部社協はSOSカード(安心カード)、家庭に保管しておくカードの導入を勧めている。このカードの周知・普及のため、市民センターにも、その用紙を置いていただきたい。</p> <p>こどもの居場所づくりに関しては、市民センター内のスペースを使って遊んでいる児童を見かけるたびに、今回の施設の一部を遊び場として開放したことは、市のすばらしい提案であったと感じている。</p> <p>今後は、高齢者に限らず誰でも参加できる居場所を整備し、そこで、子ども達に昔遊びを教えたり、学習支援などをおこなう取組みを検討</p>

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
委員	<p>していただきたい。こういったことで、一層の世代間交流が進むことが可能となる。</p> <p>市民センター内に、こども達の学習スペースを設置していただいたことは、大変有難いことである。以前はイオンの中でも無料の学習スペースがあったが、今は有料となっている。特に、受験生を持っている家庭にとっては、学習スペースの確保は切実な問題であり、塾に通っている方はそのスペースが活用できるが、そうでない方にとっては、市民センター内の学習スペースは、ライトやコンセントも整備され行き届いたものとなっている。</p> <p>また、仕事をしている女性が化粧品店へ行かなくても、学習スペースなどを使って、女性特有のメイクアップの方法などを学べる場所として、活用できるような検討もしていただきたい。</p>
委員	<p>家で学習塾を運営しているが、児童・生徒の中には、面倒くさいなど様々な理由で学校へ行けない方がいる。学校へ行く行かないは別にして、このようなこども達も、将来の自分を持っていて、勉強しなければならないことは分かっている。小中学校の相談室でも多少の勉強はできるが、市民センターの学習スペースは、より効果的である。今日は社会科、明日は科学などと決めて取組み、これに地域の方々も問題集などで勉強を教えることなども検討していただきたい。</p> <p>児童・生徒には、落ち着いて勉強できる環境が必要であり、手頃な人気書籍に勉強できるスペースが加わった図書館など（図書室・図書コーナー）を整備することは、図書館のない豊野地区にとっては、有益である。</p> <p>塾に在籍している小学生が、市民センターへ自転車かっ飛ばして行ってきたと言っていたが、施設の一部を遊び場として開放したことは好ましいことである。今後は、地域の方々と触れ合うことができる場所などの整備が進むことは、さらに良いことであるので、是非、検討してもらいたい。</p>
委員	<p>1月26日に迎春フェスタというイベントを開催したが、こどもが昔遊び、レクスポーツを体験し、軽食などを楽しめる機会であった。チラシを作成し、学校などに配布・周知した効果もあって、大勢のこ</p>

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
委 員	<p>ども達が来場した。こども達が集まれる場所があることは、最高なことで、今後、こういった場所（機会）が増えれば、地域コミュニティ、人間関係がさらに良くなっていくものである。</p>
	<p>私の地区では4名の自殺者が確認されたもので、40代、50代、60代、70代それぞれ1名ずつである。家屋としては4軒のうち3軒が空家となっている。生前のこのような方に対して国などの機関で電話相談などがあるが、実際はなかなか電話をできないものである。</p> <p>本来は身近な地域に相談体制があれば良いと感じている。人口減少が言われる中で、市街化調整区域の地区内で3軒の空家が増えること自体が問題であるので、何らかの対策が必要なものと感じている。</p>
	<p>こどもの居場所に関しては、学校の先生方は多忙で、働き方改革もあり、今以上に負担が増えることは難しい状況ですので、今後は、地域の高齢者や時間に余裕がある方などが、センター内の学習スペースや遊び場において、こどもの勉強のお手伝いなどをするような取り組みを進めてもらいたい。</p> <p>中学校では指導者不足などで部活動ができない状況が生じてきており、一部では学校外のクラブなどで活動している生徒も見受けられる。</p> <p>今後は、こども達のスポーツ活動が、その地域内で可能となるような場所の整備や指導者の体制などの検討を進めることが必要である。</p>
委 員	<p>豊野地区には、図書館、本屋さんがない状況である。このため、豊野地区の住民の方々には本に触れる機会が限られるもので、特に、児童・生徒などこども達にとっては、課題と考えられる。図書館を整備するとなると、多くの予算が必要となり、実現性が低くなるので、例えば、豊野市民センター2階の図書コーナーの蔵書をこども向けに充実させるなどの検討を進めてもらいたい。</p>
委 員	<p>世の中の高齢化の進行スピードは、とても速く間もなく限界に達するような状況である。以前、私の母親も特養老人ホームに入っていたが、当時は施設数が少なく、なかなか入所できないものであった。今は民間施設を含めて施設数は増えているが、月の負担が20万円以上と経費がかなりかかるため、あんまり魅力を感じられない現状である。</p> <p>こういったことに対して、県・市の対策等はないのか、切実な要望で</p>

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
委員	<p>ある。</p> <p>医療関係者から豊野地域の医療体制が脆弱であると聞き心配している。具体的には、医師数や施設数などが足りていないことなのか不明であるが、近所に救急車が来ても搬送先が決まるまで30分以上待っていることがある。また、搬送先が県境を越えて野田市（千葉県）まで行くようなケースもある。</p> <p>地域における防災・防犯対策として、今回、公民館が地区センターに代わり良かったと感じている。自分の生命・財産は自分で守ることが基本であり、各地区でも難しい面があり、私たち（豊野地区）も、ある程度の事業計画はあるが、次の対策として何をやるべきか、分からない面がある。これが、地区センターになったことで、様々な協力をいただき、ノウハウを得ることも可能となるため、その効果は大きいものである。豊野地区では、今までは主に災害が起きる前の対策の検討を進めてきたが、今後は、実際の災害が起きた場合の避難所の運営などの検討を進めていく必要がある。</p> <p>こどもの居場所づくりなどでも、対策として正解がないものであり、スタートしないと始まらないものである。何かできることから対応していき、その後の修正があっても良いものである。</p>
委員	<p>各自治会の会員数は、減少が続いている。一度、災害が起きると避難者が発生するが、能登半島地震の状況では、地震による直接の死亡者数より、その後の関連死亡者数の方が多いことが明らかになっている。これは、自治会の会員数の減少に見られるように、地域における日常的なコミュニケーション不足などが原因と考えられる。</p> <p>対策としては、地域における活発なコミュニケーションが必要になるが、これには、地区センターを活用したイベントなどの実施が効果的なものである。内容的には、こどもが喜んで参加できるもので、これに親もいっしょに過ごせるようなものが好ましいものである。</p>
議 長	<p>意見交換については、以上とさせていただきます。</p>
議 長	<p>次に、(2)その他になりますが、委員のみなさん何かありますか。</p>

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
委 員	(なし)
議 長	<p>6 市長コメント</p> <p>ご出席いただいている岩谷市長からコメントをいただきたいと思いをします。よろしくお願いいたします。</p>
市 長	<p>地区センターにおけるこどもの居場所づくりの設置は、今年度はトライアル（お試し）の扱いであるが、高評価をいただいている。ただし、学習する場所と遊ぶ場所を分けてほしいなどの意見も寄せられている。</p> <p>こどもの居場所として参考になるのが、グーカす（第2児童センター）である。学生のテスト期間中はすべての諸室が自習室となり、たまには東大生が勉強を教えにくることもある。また、児童センターの館長が学生（生徒）と親しい間柄であり、日常的に言葉を交わしている。テスト後などには、学生がテストの出来を館長に報告していることも見受けられる。</p> <p>こどもの居場所においては、高齢者に面倒をみてもらうことなども考えられる。児童と高齢者などが関わる事業として、三世代交流事業などもあり、その母体はいきいきクラブ連合会である。市からの支援としては、いきいきクラブ連合会に加盟していない団体が、事業を実施しても数万円の補助金が交付できない状況なので、今年は何らかの対応をしていきたい。</p> <p>防災・防犯対策には、自治会が重要な役割を果たしているが、その会員数は多くの自治会で減少している。例外的に会員数を維持している自治会に備後宮田自治会がある。こちらは、ハロウィンの行事が盛んであり、こどもにとっては、コスプレで街を歩いて、地域の方はお菓子をくださる、すごいイベントになっている。中学生から大学生までやりたい方が参加できるもので、集合場所は正善小に近い公園で、私（市長）も一度出向いたことがあるが、ハリーポッターの仮装をさせられたことがある。小学生にとっては、仮装してボランティアで参加しているお兄さん（お姉さん）と一緒に歩くことで、気軽に楽しめるものとなっている。豊野地区では、本田町がこども会だけで、同じようなことをおこなっている。自治会活動は、昔は軍隊調であったが、今はたいへん様変わりし、無理をしないことが肝心である。</p>

